

# 1 はじめに

県内の建築物や公共交通機関、道路、公園などの施設は、それぞれの施設管理者の努力によりバリアフリー化が進んでいます。

障害者用駐車場や点字ブロックなどほとんどの施設に設置されるようになりました。

しかし、必ずしも障害のある方や高齢の方にとって本当に使いやすい施設になっていないこともあります。

このため、県では、モデルとなる地区や施設で現地調査を実施し、障害者などの当事者や事業者など様々な立場の方に参加していただき意見をいただきながら、整備が必要な個所を整理しました。

調査で明らかになった不便を感じる点や改善するとよい点については、今後の整備の際にチェックすべきポイントとその改善方法を示し、手引きとしてまとめました。

また、今回の調査のように、障害者などの当事者の方や事業者の方が参加してまちづくりを進めるための手法についても、今後のまちづくりに活かしていくことができるよう、手引きとしてまとめました。

福井県では、平成30年に国民体育大会および全国障害者スポーツ大会が予定されているほか、平成37年には北陸新幹線の開業など、今後、県内外から多くのお客様をお迎えすることが予想されます。

その際には、福井県を訪れるすべての方をだれにもやさしい福井のまちと温かい心でお迎えしたいものです。

今後、この手引きが各自治体におけるバリアフリー化推進のための体制づくりや整備の参考としていただければ幸いです。